



桃三小

令和3年度7月号 No.593

令和3年 7月1日

杉並区立桃井第三小学校

校長 末 永 弘

体験を学びにつなげる

校長 末 永 弘

緊急事態宣言が解除された翌日(6月21日)、5年生と一緒に富士学園移動教室に行きました。初めて家庭を離れて、友達と一緒に過ごす3日間です。

移動教室では様々な体験の連続でした。初めて宿泊する富士学園での仲間との生活、ほうとう作り、忍野八海散策、そして富士山科学研究所での自然オリエンテーション等々です。

移動教室のねらいは、「自然に触れること」「友達と協力し、自主的に活動する」ことです。どれも大切なことですが、今回の移動教室で大切にしたいことは、事前の調べ学習を基に、実際に見たり、触ったり、感じたりする体験です。

「ほうとう作り」では、作り方を教えてくれる先生の話聞いて、友達と協力しながら生地を煉ったり、切ったりしました。幅の違う様々なほうとうができましたが、自分で実際に体験して

作ったほうとうをおいしく食べることができました。体験したことが喜びに変わった瞬間でした。

最終日には、富士山科学研究所で富士山周辺の自然を映像で見せてもらいました。富士山の歴史や自然をクイズ形式で映し出された画像を子どもたちは食い入るように見ていました。

その後、樹海の中に作られた道を使って「フィールドビンゴ」をしました。杉並区ではほとんど見ることができない虫や植物、花、リスが食べた松ぼっくり(エビフライ)等々興味深いものばかりです。子どもたちは目を輝かせながらビンゴに没頭していました。まさに五感を使っての体験活動でした。これらの貴重な体験を自分の知識や知恵にして、勉強や学校生活に活かしてほしいと思います。

思い出深い富士学園の移動教室になりました。

特別支援教育

学習や生活で苦手なこと、困っていることがあれば担任・特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー等にご相談ください。特別支援教室(ももさん教室)・きこえとことばの教室・学習支援員や介助員による支援・学齢期発達支援事業・杉並区の教育相談・巡回相談心理士など、関係機関と連携して対応検討していきます。

養護教諭 高橋 真弓

今月の生活目標(7月)

◆時間を守ろう◆

学校は集団で生活しています。皆が気持ちよく過ごすために、学校には休み時間の終わり、給食の終わりなど、守らなくてはならない様々な時間があります。低学年はチャイムの合図を守ること、高学年は時計を見ながら時間を意識して行動することを指導しています。

生活指導主任 中村 恵

【杉並子ども詩文集「杉っ子」の廃刊について】

杉並区教育研究会国語部は、これまで杉並子ども詩文集を隔年で発行し、多くの児童の作品を学校代表として掲載してまいりました。しかし、杉並区が行っている「学校の棚卸し」による行事や業務の精選を図る中で、令和元年度発刊の2019年28号を最終号として廃刊することにしました。

今までご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。